

学校再編地域協議会 弥生小学校区部会（第1回） 会議録

日 時	令和5年2月20日（月） 19時00分～20時35分
開催場所	フラワータウン市民センター 2階視聴覚室
出席委員	能勢委員 林委員 西岡委員 山口委員 笹倉委員 白土委員 森山委員 堀江委員 福井委員 北村委員 笠原委員 朝倉委員
事務局出席者	（学校教育部長）松下 修 （学校教育部担当次長）外岡 明文 （学校再編課長）上野 樹 （係長）石塚 誠 （指導主事）岡崎 正文
議 題	1. 開 会 2. 質疑・意見交換 3. 今後の進め方 4. その他 5. 閉 会
傍聴者の人数	14名

会議の概要

事務局	1. 開 会 <ul style="list-style-type: none">・本会議の公開決定。傍聴者の人数の報告（14名）・会議の成立（委員12名全員出席） ～松下学校教育部長 開会挨拶～ <ul style="list-style-type: none">・会議資料の確認
事務局	2. 質疑・意見交換 <p>では、今から次第2の質疑・意見交換を行う。</p> <p>まず事前にいただいた質問・意見について先に紹介させていただく。質問1件、意見2件である。質問「小中一貫教育の推進は、何年度からか。」については、第3期三田市教育振興基本計画に「小中一貫教育の推進」を位置づけ、令和4年度から全市的に取り組むこととしている。今回の再編が実現すれば、新しい小学校が出来て、市内で初めて小学校1校、中学校1校の体制になることから小中一貫教育のより具体的な推進が図れるものと考えている。いつから始まるのかの質問に対しては、この協議会の協議の結果を経てということになるため、今、何年度からとは言えないが、小中一貫教育のトップランナー、先進校として進めていきたい。</p> <p>意見「資料4についても事前に配布してほしい。」については、教育委員会の考えを説明するにあたり、情報公開のタイミングを統一する必要があるため、当日資料として配布した。この説明に対する質疑、意見交換については今日の部会で行いたい。最後の意見「再編に関して、優れた先進事例の収集、提供を行ってほしい。また教職員定数の加配措置による支援を行ってほしい。」については、先進事例、加配について質問者からもう少し意見の内容を確認し、対応したいと考えている。</p>
委員	<p>これまで学校のあり方検討会にも6月から4回出ているが、結論ありきの感じがして仕方がない。これまでは、データの将来、児童数はこうなるというような話であったが、富士小学校と弥生小学校の統合という話が10月のあり方検討会で出て、そして次の会議では、富士小・弥生小の再編協議会の概要という資料が出てきて、12月には再編協議会を公開の場で開催することになり、どんどん話が進んできた。そして、教育委員会の考えについて聞かせてほしいと言って、出てきたのが、先週の再編協議会での「教育委員会の考え方」である。はっきり言って結論ありきである。弥生小と富士小を統合して富士小を残すという文章を読んでも、何年も前から決まっていたような文章であって、理由も結論からの後付けのようである。統合したらバラ色で、すべてよくなるような文章であったが、メリットもデメリットもあるはず、教育は、そんなに簡単なものではないと感じた。</p> <p>二つ目は、弥生地区を教育の話だけでなく、弥生地区全体の話として、小学校がなくなったら、若い人が転入して来なくなり、高齢化する。そういう</p>

	<p>ことも30年後、50年後のビジョンも考えて、小学校のことを考えてほしい。私個人としては、統合に反対しているわけではないが、進め方について、教育委員会の一方的なやり方だと感じた。先週の協議会でも当日にアンケートを書けと言われたが、考えがまとまっていなかったのので、その後、自分の考え方をまとめた。私も地域とのかかわりもあるし、メールのやり取りも結構あるので、私の考えに対して、皆さんに意見を求めた。まだ2～3日前のことであるが、2日間でもう40数件の意見が来ている。また整理したら教育委員会に見せるが、私の意見に反対は3件ほどあった。それ以外は、ほぼ私の意見に賛成である。ここにいる委員だけでなく、もっと広く住民の意見を聞く場を設けるべきであるし、自治会やPTAの意見も聞いてほしい。</p> <p>30年後、50年後の弥生地区はどうなるのかというような大きな発想で検討しなければならないと思う。</p>
事務局	<p>出していただいた意見については、まとめるために、ホワイトボードに書かせていただく。</p>
委員	<p>前回の協議会で、委員は統合することは分かっていたが、場所がどこになるかは全く考えてなかった。しかし富士と弥生の合同の協議会でいきなりあのような発表をするのは、非常にけしからんと感じた。部会でもまだ話が決まっていない中で、ぼくらは弥生小に来てほしいと思っていたが、あのようなことを発表されたら、もう取り返しがきかない。逆に弥生に行くと言っていたら、富士の人らも怒ると思う。委員は、誰も全然知らないのに、あの進め方は非常にまずい。何のために地域協議会があるのかわからない。</p> <p>ぼくが一番知りたいのは、何年先くらいに統合するのか。大まかな時期の計画は大事である。いきなり来年と言われたら、皆怒る。腹はだいたい決まっていると思うが、事前に知らせてもらわないといけない。ぼくは1年生が入学したら、卒業するまで待ってくれと言いたい。跡地のことも、1年から5年とか、5年から10年後に校舎を壊すとか、ある程度は計画を知らせてもらわないと、いきなり言われても困る。</p> <p>また協議会を来週に開催すると言われても困る。この協議会には地域の代表として来ているのだから、我々の組織である老人会も百十何人の会員がいるので、その人たちに回覧板を回したりして、意見を聞かなければならない。そのためには、ある程度の時間的余裕がほしい。いきなり統合の形を決められたら、それありきで話をしなければならぬから、撤回してくれるのならいいが、これではやりにくい。</p>
委員	<p>最初に、先ほど2人が言われた意見と全く同感であるが、私自身は基本的には、小学校1クラスの状況を考えたとき、統合することについては賛成だった。しかし、この前の協議会の持ち方に大変立腹した。なぜかという富士小校区の人から見たら、最初から富士小に来るものだとわかっているよう</p>

な、「富士小」という発表を待っているかのような感じであった。それに比べて我々は、まるで通知簿をもらった感じである。資料を見ると、結論ありきというか、場所の選定の考え方が、まずは「通学距離の視点から検討する」、2つ目は「設備・教室数から検討する」、3つ目は「小中一貫教育を進める上でより適した場所を選定する」となっており、1つ目は、池尻とかの地域から見れば物理的に答えが出ている。2つ目の教室数から見れば弥生小は教室数が足りないで適していないということで結論が出ている。3つ目の小中一貫が一番近いから連携取りやすいという理由である。それならば我々が同じように比較した場合、子どもの環境から考えると、隣に深田公園があって、人と自然の博物館もあるので、子どもたちの社会勉強には非常に適していると考えられ、富士小よりもメリットがあると思う。そういうプラスの面もあれば別の面もあると思うが、弥生地区に小学校があるメリットが全く示されてなくて、ここで出された説明を聞くと、今まで、何のために会議をやっていたのかと思うのが正直なところである。

その中で1点質問したいが、自治会やまち協からすると、今、一つの地域で活動しているが、再編についての基本的な考え方の中で、「学校区と自治区の整合を図る、校区の一部変更、分割等は行わない」というのがあるが、この意味は、再編して1つの学校になった場合、自治会やまち協も1つになるという考え方なのか、私の考え方としては、弥生は弥生地区として自治会活動などは従来通りの活動をやっていく、小学校は1つになるにしても、それぞれの自治会が、今自主独立してやっている活動を継続していくという前提だと思うのだが、それで間違いはないか。

事務局

委員の考えで、よいと考える。

委員

そうすると、どちらに統合しようとも、当然、非常時には体育館に避難するとか、グラウンドに避難すると考えると、弥生小がたとえ富士小に行ったとしても、その場所については行政上のいろんな問題解決のために絶対に残さなくてはならない場所だと思う。小学生については、学年1クラスが複数クラスになるメリットで統合することはいいと思う。しかし、地域の活動から考えると、上深田、池尻は今三田地区に入っていると思うが、統合を機にすべて1つにしてしまうのか。そんなことすると10年数後には、中学校も1校になるとしたら、その周辺の地域全部の再編もやってしまうということになる。こういうことはまずないという前提に立って、子どもたちの今後はどうするのかということについて、考えていかなければならないと思う。このように統合には様々な問題があるので、最終的には行政で決めてもらわなければいけないと前々から言っていたが、前回の資料4の説明で、上から急に示され、あまりにも唐突という感じがする。このことについては、地域の人にも説明をするという機会を我々もつくる必要があると思う。行政側として、この前の進め方について反省されているのかどうかの意見を聞きたいと

事務局	<p>思う。</p> <p>前回、資料4を出したことで、委員の皆様が唐突にと思われたことについては、大変申し訳なかったと考えている。ただ、行き違いと言うか、あり方検討会の中で、教育委員会の考え方を示してほしいという要望があったので、それが話し合いの出発点になると考え、それぞれの部会で出すのではなく、全体会を持って、まずは教育委員会の考え方をお示しさせていただいた。しかし、皆さんには唐突に思わせてしまったことについては、申し訳なかったと思う。</p> <p>今、弥生小学校区と弥生自治区とはイコールであるが、例えば、弥生が丘自治会が途中で2つに分かれることがないようにしたいという意図である。学校再編により自治区も一つにしなければならぬのかという心配だと思うが、今の自治区を大切にしたいということである。富士は丁目ごとに自治会があるし、上深田、池尻もあるが、今の自治区の中で、2つに割れるようなことは避けたいということである。弥生が丘自治会が1つであるので、それが校区の中に納まるということを想定してそのような書き方をしている。</p>
委員	<p>意味がよくわからない。今の話だと、弥生は1丁目から6丁目まで1つの自治会である。富士は1丁目から6丁目と上深田、池尻とあるが、弥生が丘自治会が富士小学校区に仮になったとしたら、富士小学校区の自治会の1つの参画ですよということなのか、そんなことしていたら、周りの地域のお手本になるくらい弥生の自治会が、それなりの活動もしているのに、単独の組織として認めてもらわないと大変なことになるということである。</p>
事務局	<p>その通りであり、弥生が丘自治会が1つの自治会として、単独で存続するということである。</p>
委員	<p>跡地の問題はしっかりと検討してもらいたい。体育館やグラウンドについては、避難所や自治会の弥生まつりなどの活動場所としても、小学校の施設を残してほしいということ。弥生小がなくなるということが前提ではないが。</p>
委員	<p>PTAの中で、保護者に対して何も意見を求めているので、現段階で意見を言うことはできない。保護者の意見については、後々求めるようにしていきたいと考えている。</p>
委員	<p>1つは、皆が憤りを感じた前回の地域協議会について振り返る必要があると思う。行政から何の反省の言葉もなく会議がスタートしているのではないかという意見について、私も同じように考えである。私も10年余り自治会長、まち協会長もしてきた。弥生に愛着があつて、子どもに愛着があつて、放課後子ども事業を今も続けている。そんな中で一生懸命やってきて、弥生</p>

なりに30年、40年の歴史があって、弥生ならではのいろんな文化が出来ている。そういうものを残しながら再編ができるのかという心配があって、枝葉のことよりもそういうことを僕は大きく心配している。

もう1つは、先日の会議は、相撲で言ったら「土俵入りする」と言って、すぐに「はっけよい、のこった、のこった」とやった。どんなことにもプロセスがあって、それを踏んでいかなければならない。教育委員会の考え方の説明は、TPO になってない。教育委員会が部会を2度も3度も開いて、「あなた方の意見を聞いた結果として、大変申し訳ないが富士小へ行くようにまとめました。」と説明するのなら、まだいいけど、そんな断りもなく、いきなり「富士に再編」と発表されても、会議の進め方が間違っている。それを反省しなければならない。今日はまず一番に謝ってくれるのかと思っていた。「この間はすみませんでした。私の勇み足です。」そして、あの会議で答えが出ているのに「質問はありませんか」と言った。それを聞いて、教育委員会は自分たちが作った考えに意見があったら言ってくれという上からの姿勢だとわかった。それではいけない。白紙の時点で、意見をたくさん持っている人から意見聞かないといけない。いろんな意見を聞いた結果として、こうだとまとめないと、とにかく進め方が間違っている。こんな姿勢だったらどこに行っても失敗する。ぼくらはよく我慢して聞いていたと思った。誰か机たたいて怒らないかと思った。あなたたちが富士や弥生のために一生懸命やろうとしているのは分かる。しかし、もう少しうまく働きかけないと、そしてみんなに対して、おもんばかりがないと、いくら「弥生のまち調べました。」と言っても、その前に心がこもってないと。ここには弥生を愛する人たちが集まっている。「この前説明した教育委員会の考え方はたたき台です。どんどんたたいてやってください。」と言うのならわかるけど、間違っていることを是正もせず、進めていると東京に行く汽車が九州に向かっているのに、まだ意見を言っているのと同じである。みんなのベクトルを同じ方向に向ける努力をしないと、謝るところは謝って、そこは潔くしないと、「この前は申し訳ない、今日から気持ちを白紙にして、この富士と弥生の統合を成就したいので、精一杯頑張りたい。この前の説明は自分なりの私見であったが、皆さんと一緒に改めてやりたい」と言わないと、こんなこと何時間やっても再スタートにならない。これを乗り越えて、部会を1回、2回とやって、急ぐのならそこで本音を言えばよい。時間的な目標や配分を言ったらいい。重要なポイントはどこかとか、統廃合しても自治会は大丈夫ですとか言えば住民も安心する。跡地の問題も、教育委員会では答えられないだろう。それも正直に言えばいい。跡地の問題は全市的な問題である。しかし、そればかりに時間を使ったら、肝心の子どもができない。子どもの大事なことを一番に決めなくてはならない。まずは、間違えを改めて、「いっしょにやりましょう」とやらなければいけない。よろしく願います。

事務局

会議の進め方について、大変配慮がなくて申し訳なかった。

委員	<p>この前の「教育委員会の考え方」は単なる参考意見とこの前の時に言われたので、参考意見として、先ほどは白紙にするべきと言う意見も一部言われたと思うが、それはどうか。</p>
事務局	<p>今回は「教育委員会の考え方」について、お示しをさせていただいたということである。それがもうすでに決まったということではないので、それをたたき台としてもらって構わない。様々の意見をいただきながら、よりよい方向に進めていければと思っている。</p>
委員	<p>1つは、今の弥生小の状況で、いろんな方からもうすでに10年間もこのような状況が続いているという意見や、今ある1学年1学級という教育条件は好ましいものではないという意見などは、弥生のあり方検討会の中で、出ていたと思う。そしてこの問題に対しては、いわゆるいつ、どこを使って、どのような形で再編を進めていくのかということが大事であり、その判断をするときに教育委員会がリーダーシップをとってほしいと思う。教育委員会がリーダーシップをとるときが、どこかの時点で必ず来ると思う。ただ、その抱き合わせで、住民の声を広く聞いていくことが大事であり、そのことも含めて、教育委員会のリーダーシップを発揮してほしいと、私も言ってきたし、そういう意見も出ていた。しかし、広く聞くという部分が欠けていたら、「どないなっているんや」ということになる。</p> <p>1点、確認だが、この前の協議会で富士小校区の方から、「ウエルカム」という言葉が出た。弥生が来ることについて「ウエルカム」と。うがった見方をしなくてもいいかとも思うが、ただ教育委員会も言われたように、自分自身も最初は、富士小の方が大きいので、富士小に統合されるものと思っていた。しかし、ある時に「学校名は」と聞いたら、これは新しい学校だからと言われた。ということは、今ある弥生小、富士小は閉校をして、新設校ができるということではどうか。それは富士小校区の委員にも十分理解はされているのか。それが富士の委員の中で徹底されているのか。</p>
事務局	<p>新しい学校については、先週の地域協議会の中で、初めて公表させていただいた情報であるので、富士が丘の委員がどのように理解されたかについては、明日の富士小校区部会で確認することになる。ただ、富士と弥生で1つの学校を作るということについては、これまでから意見交換をしてきているので、どちらの学校で、どのようにという点については、前回の協議会で説明した内容である。富士と弥生を統合し新しい学校を作るということは言ってきている。</p>
委員	<p>どちらの学校を使うかの前段で、学校再編の考え方として、1つの学校に吸収するのではなく、2つの学校を閉校して、新しい学校を作るということ</p>

	<p>が、弥生のあり方検討会では聞いていたが、富士のあり方検討会では、その件は話されていないのか。</p>
事務局	<p>あり方検討会の記録を見ないと、今はちょっと確認できないが、両校で新しい学校を作るという概念は、富士小校区のあり方検討会でも示していると思う。その会の中で、そのことをことさらに強調して、確認したということは記憶にないので、明日の富士小校区部会の中で、改めて確認したいと思う。</p>
委員	<p>富士小と弥生小のあり方検討会の中で、同じことを示されるのならわかるが、弥生の中では新しい学校を作ると示されて、富士の中では示されていないのなら、それはおかしい。</p>
事務局	<p>富士小校区部会でも確認をしながら、両校を統合して新しい学校を作りたいということについて進めていきたいと考えている。</p>
委員	<p>前提の話として、今どちらにするということではなくて、今、弥生地区に130人の子どもがいる。富士小には300人いる。しかし、10年後には富士小は100何人になり、弥生小も90何人になる。そうしたら新しい学校を作るとしたらどっちがいいのか。たまたま今、弥生が丘と富士が丘に小学校がある。それをどこに持って行くかという観点ではないかと以前言った。子どもの数の多い少ないではなく、弥生小は学校へ登校する安全の問題や深田公園など自然に恵まれている教育環境なども考慮して検討しなければならないのではないかと。私は弥生小の方がいいのではないと思うが。さっきの話で「ウエルカム」と言うのは、富士の人はあまりこういう議論をされていないのではないかと思う。あり方検討会の回数を見ても2回か3回だけで、はじめから富士小に来るという前提から、心配もなければ、「弥生が富士に来るのだったら我々がちゃんと迎え入れてあげますわ。」みたいな、そんなことではないのか。</p>
事務局	<p>富士小のあり方検討会の中で、事務局から「富士小に再編する」と言ったことは一切ない。先ほど、あり方検討会の回数の話も出たが、富士は3回、弥生は4回実施している。これは地域協議会のメンバー選出の件で、弥生の方が1回多かったということなので、誤解のないようお願いしたい。</p>
委員	<p>富士小のあり方検討会の時に、地域協議会のメンバーについても、教育委員会から提案されたら、「それは、そうやな」ぐらいで、あまり議論もなかったのではないかと。先ほど言われたように、富士と弥生が同じ問題として共有して、何年先にこうやとならないと、富士小に弥生小が吸収されたような形になるのではないかという我々は懸念を持っている。教育委員会が、富士に先に話したとは思っていない。</p>

委員	<p>教育委員会は弥生が富士に行くという意見になっているが、バランス的におかしいのではないか。富士に小学校も中学校もあるようになるので、弥生に小学校を置いたら両方のバランスが良くなる。バランスの問題も考えてもらわないといけない。結論が先に出てしまったので、結論を撤回してくれたらいいけど。全部、富士に行ってしまうと、弥生にはなくなって、おかしい。</p>
委員	<p>どちらがどっちという以前に、まず学校再編が必要だということについては皆わかっている。今度は皆が思うのは、いつ、どこに、どのようにである。これについて、まずどこの大前提として、どちらかの学校が吸収するという考え方だと、1つの学校はつながっていく、歴史は残っていく。ところが新しい学校を作ることになると、富士小も弥生小も30数年の歴史を閉じるということになる。そして新しい学校ができる。このことを考えるときに、そのことを確認せずに、検討することはできないと思う。弥生では、新しい学校をつくるという話が出た。学校名はどうなるのかという話も出て、それをベースにした話し合いをしている。ところが今の事務局の話だったら、まだ富士小の協議会の中では新しい学校としてスタートするという確認が出来ていないと言う。これはことを進めていく上での基本の部分。その部分の記憶がないとかいうこと自体おかしい。今度仮に富士と弥生と一緒に協議会を持った時に、この前の協議会の場合は全く意味がなかったということになる。お互いの土俵が違うわけだから、「ウエルカム」と言う言葉も出るのだ。それは何も富士校区の委員が悪いわけではない。差のことを私は言っている。何処にという以前の問題だと思う。</p>
委員	<p>合併と統廃合とは違うと思う。富士の委員にそういう気持ちで地域協議会に臨んでほしいと言っている。遅まきながら、今からでも富士の委員にその意識は植え付けてほしい。「ウエルカム」なんていう言葉は、よしんばこの前の協議会で、結果が弥生に決まると聞いても、僕らは「ウエルカム」なんて言わない。そう軽々に「ウエルカム」とは言えない。場所を決めることと、統廃合、合併などの流れが違うので、1つ1つ片付けていけないからそうなっていく。子どものことを考えたら早くしてあげたいと思っているあなたたちの気持ちもわかるけど、富士と弥生が同じような気持ちで、いい学校を作るのだという気持ちが大事だ。場所はその次、跡地はまたその次や。それをみな同時にやるからおかしくなる。</p>
事務局	<p>確認ができたので、報告する。富士の方でも「新しい学校」ということで説明をしている。あいまいなことで申し訳なかった。</p>
委員	<p>新しい学校と書いているが、場所が決まれば、学校の名前も変わって、理念も変わっても、結局、富士小学校区では富士小学校が残っているというイ</p>

委員	<p>メージで、弥生小がつぶれたというイメージは残るのではないか。新しい学校、新しい学校と言って、理念ばかり言っても、保護者には、やはり場所の問題が一番頭にある。どんな教育をするかとか、新しい理念は教育者の問題であり、保護者は通えるかどうかや場所の問題が大きいと思う。</p> <p>新しい学校と言われても、それは廃校ということには触れていない。2つの学校が寄ったら新しい学校である。それと閉校するという事とは別である。</p>
事務局	<p>富士のあり方検討会の時に、新しい学校になるので校名や校章も決めないといけなと説明もしているので、廃校することについても理解を得られていると思う。その時は、それは嫌やという意見は出ていないが、説明はしている。</p> <p>新しい学校の場所については重要で、皆さんが当然気にかかることである。新しい学校の場所となる側は当然うれしいし、逆になれば、反対意見も出るかもしれない。そういうところもあるので、地域協議会で新しい学校の場所を富士小とすることについて「非」ということになれば、統合の話は進められない。そういうことも含めて皆さんの意見、組織の会員さんたちの意見をまとめあげて、協議会として1つの結論を出していただきたいと考えている。再編地域協議会について、前回の資料に書いているように、再編の是非、再編の時期、課題の取りまとめ、意見のとりまとめ等をしていただくことをお願いしたい。</p>
委員	<p>場所の問題で気になっているのは、富士小の場合は三田幹線道路の真横になるので、騒音的な問題はどうか。気になるのか、ならないのか。また学校の校舎の問題だが、我々は、富士小の中に入って見たこともないので、全然イメージがつかめない。双方、どんな学校か見てもいないので、一度、学校の状況を確認する場もほしい。再編の時期的なことについては、皆さんが言っているように早い方がいいと思う。ただ、それに伴う種々の問題点はいっぱい出てくると思う。また空いた方の学校をある期間、残しておいてもらえるか、スポーツ21も活動しているし、自治会も夏祭りなどをやっているの、どういうタイミングで統合へ持って行くのかはいろんなことが必要だと思っている。そして、そもそも統合していく双方の子どもたちのイベントとか事業も考えていかなければと思う。ある日突然、統合です、新しい学校に来てくださいではいけないと思うので、あらかじめ、そういう交流の場を作ってほしい。跡地の問題は、フラワータウンの再生プランも動き始めているので、何らかの影響や、方向が見えてくるのではないかと考えている。避難所の問題、そして自治会で言うと、自治会の場所が弥生地区の一番端に自治会館がつけられていたので、非常に不便なところにある。また活動スペースも狭く、駐車場も十分に取れないような状況であるので、そうい</p>

	<p>う利用も跡地でできるのかなと、自治会としては考えている。僕も弥生地区で夏祭りを20年くらいやっているが、ああいう場では、子どもたちの交流も生き生きとやっている。実際、富士の子どもたちも皆来ている。狭間や武庫の子どもたちも、結構来ている。そんな中で、弥生自治会と富士連合自治会とがお互いのイベントの中での交流を上手にやり、新しい学校としてのスタートが切れる前段階の何かを、統合時期が決まれば計画していきたいと思っている。</p>
事務局	<p>双方の学校に1回行ってみたいという意見もあったので、また調整させていただく。</p> <p>前回の地域協議会の中で、教育委員会の考え方について、提案させていただいたが、唐突感があって、そこについては大変申し訳なく思っているが、ただ弥生小の子ども状況が、今後、子どもの数も急速に減っていく中で、子どもたちの教育が、教育環境としてこのままの学校でいいのだろうかというところがまず出発点である。我々としては、他の学校で様々な活動が出来、体験や授業の中でこんなことが出来るということが、子どもの数が少ないという環境の中で、出来ないことが増えてくるということに、とても心苦しく思っている。そして今回、このフラワータウンの中で、皆さん方と色々な意見交換をしながら、教育委員会として一定、考えをまとめさせていただいた。フラワータウンは歩いてすぐに学校にも行けるという非常によい環境にある。今ある学校より遠くなるか、今ある学校が無くなるさみしさなど、非常によくわかるが、それを皆様方にとっては、飲み込む時間が必要であるし、飲み込めないという方もいるかもしれない。ただ子どもたちの教育の場というところを考えて、我々は再編が必要ではないかというところで、一歩前へ踏み出したところである。場所については、こちらから皆さん方には一度もお知らせをしていない状況の中で、13日に初めて、公表をさせていただいたというところで、非常に唐突感はあると思うし、我々も皆さん方のお声を聞く中で、じっくりと答えを導き出すというところが欠けていたのかと思い、そこについて非常に反省をしているところである。今後、今いただいたたくさんの意見、その中でも子どもの教育に関すること、地域の活動に関することなどいろんなご意見があったので、皆さんの意見をまとめ整理しながら、順番に協議できるようにしていきたいと思う。</p>
委員	<p>市のホームページに、弥生小学校、富士小学校の今の問題点というのは、掲載されていたか。</p>
事務局	<p>弥生小、富士小の個別の問題点としては掲載していないが、小規模校の課題については、掲載している。</p>
委員	<p>資料4があまりにも先走って広がっており、いい印象を持たれていないのが、現実的のところだ。だから、問題点をもう少し、わかりやすく表に出し</p>

	<p>てほしい。保護者に意見を求めるときも、「こういう問題点があるから再編を進めたいと思っているが、皆さんどうですか。」と意見を聞く方がよい。PTAからも保護者に意見を聞きたいと思っているが、問題点がないと意見を求めにくい。</p>
事務局	<p>個々、具体の問題点は言いにくいところがある。閉じられた空間の中で、ここが問題点ですとちょっと説明したりすることはあったとしても、個々具体の課題まではオープンにはできない。小規模校の一般的な課題として資料3に記載をしているので、ご理解を願いたい。</p>
委員	<p>今後の進め方で、教育委員会だけではできない。学校再編は地域の問題でもあるから、三田市全体で取り組んでいただきたい。もちろん教育については中心にはなるが、跡地の問題も、次の協議会では、市の担当者にも直接聞いてもらわないと前に進まない。</p>
事務局	<p>今回、意見を聞いている中には、まちづくりの課題も跡地の活用についても含まれている。それについては、持ち帰り、整理をさせていただきたい。まずは担当部署と協議をさせていただき、どのタイミングで、どのような形で協議をするかは、こちらで整理させていただきたいと思う。</p> <p>この委員の皆さんと協議するのがいいのか、またまちづくりに特化したメンバーであるのがいいのか、跡地の活用の部分であるのがいいのか、いろいろな見方があると思うので、一旦預らせていただきたいと思います。</p>
委員	<p>小中一貫教育のところで、いいなと思ったが、今とどのように変わるのか、どんなメリットがあるのか、子どもたちの成長過程でどれくらい必要なのかというところが、この資料からは分からないので聞きたい。</p>
事務局	<p>小中一貫教育については、今を生きる子どもたちにとって必要となっている。まずは中学校の先生たちが、小学校の子どもがこのような発達をして、このような学びをして中学校に上がってくること、また逆に小学校に先生が、中学校という義務教育が終わったときに、こういう力をつけておかないと、高校へ行って、また社会に出たときに困るということをお互いに理解しておくことは非常に大切なことである。今は、小学校は小学校、中学校は中学校で完結してしまっている。小学校6年生は、引継ぎで、中学校にも行き、かなり詳しく連携するが、例えば小学校1年生の先生が中学校に行くことはあまりない。小中一貫教育を進めるということは、小中の先生が、お互いの学校を行き来して、小中学生の発達段階を見極め、子どもを知っていく、子どものよさや課題を共有していくことである。</p> <p>一例であるが、小学校の算数では6年生で比例を学習するが、中学校でも同じことを学習する。小学校ではこのような学び方をして、中学校では方程</p>

	<p>式を使ってこのように学んでいるということを小中学校で共有することで、双方の教え方がよくなっていく。そのことで子どもたちの学力も着いていく。また子どもの心理の面でも、小学1年生はこうやってランドセルの片づけ方を学ぶということも中学校の先生は見たことがない。そういうことをお互いに知りながら教育をやっていくことが、今重要になっている。</p> <p>市教委では、昨年度から県内の小中一貫教育の先進地を8地域回ってきた。その中で、一番良かったことは、中学校の先生に小学校に来てもらうことによって、小学校の先生が中学生の多感な時期について、こんなに心が豊かになったり、不安になったりするのがわかったり、逆に中学校の先生は、小学校の丁寧な授業を見て、授業がよくなっていくことである。小中学校のお互いのよさを理解しながら進めていくことはこれからの教育にとって必要である。以前から言われている中1ギャップ、中学校になると急に生活が変わって、学校に行きづらくなること。今までは、どうしても小学6年生から中1の引継ぎが中心となっていたが、それではなく義務教育9年間を見渡して、先生たちが子どもに関わる方が必ず教育効果も上がるので、小中一貫教育を進めている。小中一貫教育の先進事例も、今集めているので、そういうことも伝えながら、進めていきたいと考えている。</p>
事務局	<p>3. 今後の進め方</p> <p>では、次の次第3の「今後の進め方について」であるが、説明会を開いて、みなさんに説明をしていくべきか、また部会を開いて意見を交換していくべきか、今後、どのようにしていくか、相談させていただきたい。</p>
委員	<p>まずは、今日、出てきた問題点を教育委員会で整理して、公表し、どの問題点をどのように議論していくかの筋道を、次の会議までに示してほしい。</p>
事務局	<p>今日出していただいた意見や課題について、教育委員会で整理し、委員の皆さんに見ていただき、相談させていただきたい。部会を3月に開催するのであれば、早急に進めていかないといけない。</p>
委員	<p>地域協議会で出た問題を、PTAや自治会などの各組織へ降ろして、意見をまとめて会議に来なければならないので、どんどん部会を進めてもよくない。</p>
事務局	<p>今の意見のような進め方でよいか。一旦、今日出てきた意見などを整理し、みなさんに渡し、組織、団体へお知らせいただく時間を十分にとって、それが一定終わる段階、それが4月なのか、5月なのかはわからないが、そのくらいの期間をとらせていただいたらいいか。</p> <p>新年度になって役員の交代などいろいろなこともあるので、それが終わるのは、4月末か5月の最初というところか。</p>

委員	<p>PTAでも、そのような説明の機会を作りたいと思われているだろう。しかし、いつまでもよいというわけではないので、年度末から年度初めにはなるので時間はかかるが、ある程度、時期を決めたらいいと思う。その説明のときに、子どもの数がこうなっているという現状や問題点について説明し、だから今このような再編の考えが出てきている、それ以外に意見があったら言ってくださいというような形が、一つの方向付けになるのではないかとと思う。自治会としても、そういう機会をつくらなければと考えている。</p>
事務局	<p>説明会が必要であるということであれば、今出している資料、特に現状と課題の部分からスタートするという説明の仕方というものは、我々もどんどん説明させていただきたいと考えている。ただ、時期が3月～4月となるので、役員さんは交代されるかもしれないが、会員さんに説明するには、特に影響は少ないと考えるので、説明会を3月に開催するのは可能かと思う。</p>
委員	<p>地域協議会は委員だけの発言だが、説明会では、そこに参加している人、全員が発言できるのか。</p>
事務局	<p>発言できる。</p>
委員	<p>そういう説明会でないと、我々だけの話なら、何回も堂々巡りになってしまうから、そこで新たな考えなどが出た場合、それが資料4に掲載される前提として、比較検討がなされて、総合的な教育委員会の考えとして出たらよかった。そこが今回抜けていたように思うので、みんなの意見を聞く機会を作らないといけないと思う。全員の意見は聞くことはできないが、そういう機会は作らないといけない。</p>
事務局	<p>では、そういう意見が出たので、説明会は年度明けぐらいを予定してよいか。例えば、自治会回覧で周知し、4月末ぐらいをめざして開く段取りでよいか。PTAはどうか。</p>
委員	<p>PTAは4月22日が総会の予定。</p>
委員	<p>スポーツ21はメールで発信して、その意見をまとめて事務局にお渡しする。</p>
事務局	<p>そうしたら、基本的に自治会とPTA、この場で調整するには時間もかかるので、後日、個別に調整をさせていただき、だいたい4月末ぐらいを目途に説明会を開くということにさせていただくということによいか。</p>
委員	<p>さっきの委員の話ではないが、こういうことを富士小校区の委員もきちっ</p>

事務局	<p>と認識してほしい。富士小校区の人が腕を組んで待っているような、結論ありきの話ではいけないし、こんな意見が出ていることも富士小校区の委員に知らせてもらう必要があると思う。最終的には、どちらかに決めなければならないが、決まったら、例えば子どもたちの見守りなど弥生でもしているが、今度、子どもが富士小から弥生に帰ってくるときにどうしようかということもある。今度は地域の課題として考えていかなければならないこともあるわけなので、だから反対ということではなく、そうなったときの対応を地域として考えていかなければならないので、どちらになろうとも、相手側にも同じような認識をしてもらわないと、この前のような「ウエルカム」だけ言われたら、それはかなわない。</p> <p>言われる通り、富士小校区も含めて、一緒に新しい学校を作るという認識の上に立って話し合いができるように進めていきたいと考えている。また新しい課題というところも、今後、順番に、ある程度方向性を導き出せるような話し合いができればありがたいと考えている。</p> <p>では、説明会は4月末を目途に進めていくということで、各委員と個別にご相談をさせていただく。そしてその説明会で出た意見を持って、また部会を開催させていただくということをお願いしたい。</p> <p>4. その他</p> <p>5. 閉 会 ～松下学校教育部長 閉会挨拶～</p>
-----	---